

未来を開く

長井市立長井北中学校

No79 令和4年 2月10日

生徒会活動を「総括」

本日、「生徒総会」が開催され、令和3年度の活動を振り返った。成果と課題をふまえ、さらなる飛躍につなげたい。

◆生徒会スローガン

「興（おこす）」

=スローガンにこめた思い（5月の総会資料から抜粋）=

この「興」という漢字には、力を合わせて物をあげるという意味から成り立っていて、始める・盛んにする・奮い立たせるなどの意味があります。

このスローガンには、自分から行動をおこして北中を盛り上げ、さらに良い学校にしていくという意味がこめられています。また昨年度は、コロナ禍の中で活動が制限され、例年より消極的になってしまう面もあったことから、再び北中を活気づけ、より勢いをつけていくという決意がこめられています。

また、今年度は北中創立40年目という節目の年です。そこで、もう一度“北風活動”という原点に戻り、より充実した生活を送るために、4つの重点を掲げ、みんな一丸となって活動してきました。

① あいさつ

・最近の生活では、あいさつの個人差が課題として挙げられる。「元気・笑顔・会釈・自分から」の4つの柱を意識して、あいさつを向上させる。

◎毎日のあいさつ運動や強調週間をとおして、全員があいさつできるようにする。



② 仕事

・全校生が「自分から」仕事に取り組めるようにする。

・自分の仕事に責任を持って取り組めるようにする。

◎「継続力強調週間」をとおして「自分から」仕事に取り組む意識を高める。



③ ボランティア

・人のために自分から行動し、ボランティアに意欲的に取り組み、地域に貢献する。

◎アルミ缶回収やちょボラをとおして、ボランティア精神を高める。



④ 部活動(重点にはありませんが、北風活動として取り組みます。)

・3年生は悔いを残さない、1・2年生は次につなげられるような活動をする。

・目標に向かって全力で取り組めるようにする。

◎部対抗あいさつカップ活動をとおして「自分から」のあいさつを意識させ、継続させる。



本日の生徒総会で、生徒会長の松木昊明(こうめい)さんが、令和3年度を次のように総括しました。



今年度の生徒会スローガンには、全校生が自分から行動をおこして北中を盛り上げ、さらに良い学校にしていこうという意味がこめられています。この一年間、再び北中を

活気づけ、学習や部活動、行事等に一人一人が目標を持ち、多くの達成感や感動を得ることができたのではないのでしょうか。また、みなさんは重点である「あいさつ」、「仕事」、「思いやり」の項目に対して、どのように取り組むことができましたか。

1つ目の「挨拶」では、一人一人の個人差が課題として挙げられていました。今年度の活動によって、少しずつ、「元気、笑顔、会釈、自分から」ができる人が増えてきたと思います。来年度は、返事の個人差をなくし、誰もが大きな声で返事をできるようにしていきましょう。

2つ目は「仕事」です。普段の仕事はもちろん、行事の準備をとおして得た力を日常の仕事にも生かすことができました。また、自分たちで生徒会を創っていく、という自覚を持ち、仕事に責任を持って取り組む姿勢が多く見られました。

3つ目は「ボランティア」です。「ちょボラ」や「全校ボランティア」を

とおして、ボランティアの大切さについて知ることができたと思います。一方、アルミ缶回収での個人差がめだつたように感じます。

4つ目は、「部活動」です。各部がそれぞれの目標達成に向けて、全力で取り組むことができました。一人一人の部活動に対する意識が向上したと思います。

今年度の活動をとおして、北風活動で北中を興していく、という気持ちを様々な場で見ることができました。この1年で身についた意識を継続していき、北風活動の伝統を、更につなげていきましょう。

心のとびら

「大切にしたい
三つの力」
古賀千穂 著
教職研修 2022.1

◇自分の感情をコントロールする力

上手くいかないとき、イライラ、落ち込みは誰もが経験します。人のせいにならず、切り替えて落ち着ける方法を見つけましょう。

◇自分の行動がどのような結果になるかを考える力

自分の行動は、自分に返ってきます。したらどうなるか、しなかったらどうなるか、その場で考えて判断しましょう。

◇人の気持ちを想像する力

何をしてほしいのか、何をしてほしいくないのか、想像できる人は信頼されます。